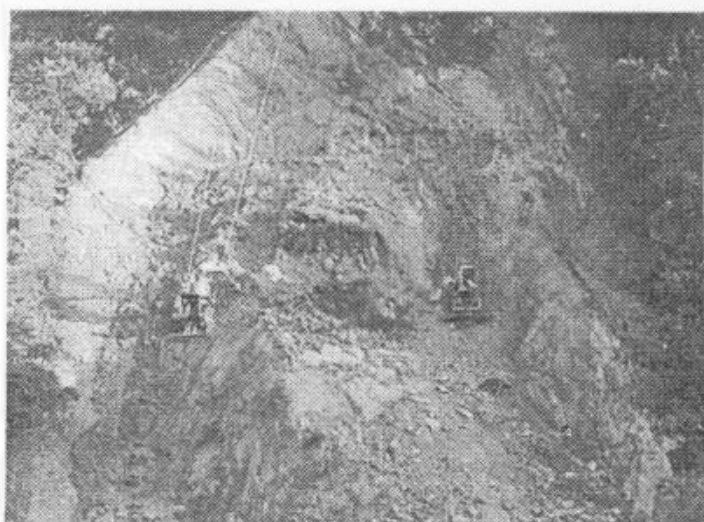


## 高所法面掘削工法が活躍 震災の復旧現場で威力

大昌建設

大昌建設(株) (本社・千  
葉県長生郡長生村金田2  
695) が設計・開発し  
た「高所法面掘削機によ  
る掘削工法」が、中越大



震災の復旧が進む被災現場で威力を発揮している。同工法は、「高所法面掘削機(ロッククライミングマシン)」と斜面上部に設置したアンカーをワイヤーロープで確実に固定した組み合わせで行う

工法で、高所法面の切り取り、切り崩し、掘削、抜根、整形等の作業を、人力施工に変わって機械で安全かつ迅速に行うことが出来るのが特長。特に落石や崩壊等の災害の恐れのある現場ではラジ

コンによる遠隔操作での施工が可能だ。写真は遠隔操作での作業の様子。安全面では、足元が崩れても大丈夫な安全率の主ワイヤーで支えているなど、十分な安全対策を採りながら

施工される。

また、同工法は国土交通省の新技术登録(No.KT-010076)を行っており、全国で施工実績がある。

新潟県内では、震災地区の長岡市、小千谷市をはじめとして、10現場以上で採用されており、現在、施工または着手中。

同社は「今春の施工予定についても、現在、既に依頼を受けている現場もあり、今後も災害復旧工事で活用されるべく普及に全力を投入したい」と意欲を見せる。

問い合わせは、TEL 0475-132-0077まで。また同社ホームページ(<http://www.taisho-kk.com/>)も参照。